

調査対象物質名	分析法フローチャート	備考
[1]総PCB [13]ヘキサブロモ ビフェニル類 [14]ポリブロモジ フェニルエーテ ル類（臭素数が4 から10までのも の） [20]ポリ塩化ナフ タレン類	<p>【生物】</p> <p>生物試料 湿重量20g</p> <p>脱水 無水硫酸トリウム</p> <p>ソックスレー抽出 ジクロロメタン 300mL 6時間</p> <p>クリーンアップ剤の添加（注）</p> <p>脱水 無水硫酸トリウム</p> <p>濃縮・転溶 D-1000 20mL</p> <p>分取 2mL</p> <p>多層シリカゲルカラム クリーンアップ</p> <p>一部は活性炭分散シリカゲル クリーンアップを実施。</p> <p>シリカゲル 5g、シリカゲル 0.5g、 硫酸/シリカゲル(22:78) 2g、 硫酸/シリカゲル(44:56) 3g、 シリカゲル 0.5g 溶出：ジクロロメタン/ヘキサン(20:80) 50mL</p> <p>33%活性炭分散シリカゲル 3g 妨害物質除去：ジクロロメタン/ヘキサン(10:90) (10:90) 20mL 溶出：トルエン 60mL</p> <p>濃縮 D-1000 窒素バース 50µLまで</p> <p>濃縮 窒素バース 50µLまで</p> <p>GC/HRMS-SIM-EI</p> <p>シリカゲル剤の添加 PCB#9及び#205の¹³C₁₂-体を各250pg、#19、 #70、#111、#138及び#178の¹³C₁₂-体を各125pg、 PBDE#79及び#138の¹³C₁₂-体を1ng 並びに#206の¹³C₁₂-体を2.5ng</p> <p>（注）PCB#3、#8、#194、#206及び#209の¹³C₁₂-体を各2ng、#28、#31、#52、 #77、#81、#101、#105、#114、#118、#123、#126、#153、#156、#157、 #167、#169、#180及び#189の¹³C₁₂-体を各1ng、 HxBB#153の¹³C₁₂-体を2ng、 PBDE#3、#15、#28、#47、#99、#153、#154及び#183の¹³C₁₂-体を各1ng、 #197及び#207の¹³C₁₂-体を各2.5ng、#209の¹³C₁₂-体を5ng 並びに2-モノクロロナフタレン-d₇を2ng、1,2,3,4-テトラクロロナフタレン、1,3,5,7-テトラクロロナフタレン、 1,2,3,5,7-ペンタクロロナフタレン及び1,2,3,4,5,7-ヘキサクロロナフタレンの¹³C₁₀-体を各1ng</p>	<p>分析原理：GC/HRMS-SIM-EI</p> <p>検出下限値： 【生物】（pg/g-wet）</p> <p>[1-1] 0.9 [1-2] 4.1 [1-3] 2.2 [1-4] 2.2 [1-5] 1.8 [1-6] 1.6 [1-7] 0.9 [1-8] 2 [1-9] 1 [1-10] 0.7 [13] 5 [14-1] 6 [14-2] 5 [14-3] 5 [14-4] 5 [14-5] 5 [14-6] 9 [14-7] 70 [20-1] 4 [20-2] 2 [20-3] 2 [20-4] 3 [20-5] 2 [20-6] 2 [20-7] 2 [20-8] 1</p> <p>分析条件： 機器 GC：HP6890GC MS：AutoSpec Ultima 分解能：10,000</p> <p>カラム [1]総PCB HT8-PCB 60m×0.25mm [13]ヘキサブロモビフェニル類及び[14]ポリブロモジフェニルエーテル類（臭素数が4から10までのもの） BP-1 15m×0.25mm、0.1µm [20]ポリ塩化ナフタレン類 DB-5ms 60m×0.32mm、0.25µm</p>
	分析機関報告	